

平成30年度 自己評価結果公表シート

認定こども園
和泉チャイルド幼稚園

当園ではこの度、平成30年度の認定こども園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。学校評価とは、認定こども園の教育活動について、具体的な努力目標を明示し、計画的に点検・評価を行うことにより、教育活動の改善・充実を図っていくものです。この自己評価の結果を受け止め、今後の当園の成果や課題を明確にし、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

1. 頑張りのきく体力づくり
2. 思いやりの心の育み
3. 表現を楽しむ環境づくり
4. 食への関心と感謝の心の育み

II. 今年度の重点目標

子ども達に育みたい力を、保護者はもとより、子どもたちにもわかりやすく伝えられるよう明確化し、教育方針、教育目標に基づいて保育内容や行動の見直しをすすめられるようにする。

III. 評価項目と平成30年度取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 教育課程・指導	(幼稚園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導の状況) 環境を通して行う幼稚園教育の実施の状況	教育・保育の環境の見直しとして、学年ごとまたはクラスの中の個人の発達状況や特性に応じた整備を行なった。
2 教育課程・指導	(幼稚園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導の状況) 遊びを通しての総合的な指導の状況	学年・クラスの子どもたちの興味・関心のひきだしとともに、各特性に応じた遊びの活動や集団の中から子どもたちの育つ姿を見取った。
3 保育環境の充実	幼児の発達段階に即した遊具や設備、絵本などのさらなる充実の検討	学年の育ちに応じた遊具・教材の見直し、また子どもたちの興味・関心に合い対話のツールとして活用する、あるいは季節・自然・健康に関する絵本・教材の導入。
4 安全管理	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取組み・共有部分の整理整頓・清掃の徹底	大阪府警・和泉警察の協力のもと平時または災害時に応じた設備の安全確認の実施、防犯・防災に関する研修。
5 保健管理	日々の健康観察や疾病予防のための取組み、健康診断の実施の状況	常駐の看護師主導による水質管理や食物アレルギー児の給食提供の仕方の徹底、エビペン管理の実施、AED使用の研修。内科・歯科・身長・体重・視力・聴力検診の実施。
6 教職員間の連携の強化	終礼での報告だけでなく、各学年でのミーティングや他のクラスの様子を知る機会の充実	学年ミーティング・学年リーダーミーティング・各担当ミーティング・こども会議の折々に、こどもの育ち・学びのすがたについて情報交換を充実させた。

7	配慮を必要とする子どもへの対応	配慮を必要とする子どもへの援助のあり方等について、専門家(臨床心理士)との意見交換の機会を設け、教職員の理解・認識を深める	配慮が必要な子どもへの対応の要点を毎月のキンダーカウンセラー(臨床心理士)の来園時や和泉市教育委員会指導員による巡回指導により、教職員間の相互理解による子どもの理解・認識を深め保育につないでいる。また、保護者の連携を大切に、園の指導計画の充実を図った。
8	保護者・地域住民との連携	園の役割や機能を達成するために必要となる地域の様々な機関や団体と適切に連携している	地域(町会)の行事(夏まつり、秋まつり、おもちつきなど)の準備の様子をみたり、参加したりなど、地域とふれあう。教育委員会後援の子ども食堂・にじのとしょかんの行事への参加を実施・市営運動広場への散策。
9	子育て支援	地域の子育てセンターとしての機能を発揮している	園内に子育て相談員が常駐し、大阪府推薦の臨床心理士によるキンダーカウンセリングの設置について地域へ広く発信している。また、園庭開放を通して地域の家庭(親子)の受け入れをし”おはなしcafe”などのコーナーで子育ての支援をおこなう。
10	情報発信の充実	保護者や地域の方々に対して、園行事や保育活動、給食の内容などを知って頂くための、園のホームページやブログの活用	地域や町会の掲示板へ園行事の内容やご挨拶を掲示すると同時に、園のブログやホームページには日々の教育・保育活動について、また、給食内容について、重ねて地域の方や未就園児保護者に向けた情報発信を行っている。
11	保育計画の作成と評価の充実	各学年の年間計画の見直しや整備を行い、月案、週案の立案に反映させているか	学年ごとの年間計画の見直しを行い、具体的な整備を年度初めより学年ミーティング・学年リーダーミーティング・主任ミーティングを充実させ、継続して行っている。また、月案週案、日案に反映させ、内容の充実を図る。

IV. 今後の課題

1	教育カリキュラムの見直し・充実	新入園児の様子やクラス替え後の子どもたちの様子、支援が必要なこどもの様子、育ちの姿を見据えた上で、全体のカリキュラムの細かい変更の見直しを行う。また、育てたいこどもの姿を見据え、子どもにとって興味・関心に沿ったカリキュラムを盛り込むなどの工夫を行っている。
2	行事等の評価・反省活動の充実	行事や月2回の災害時防災訓練・交通ルールを知る園外活動毎の振り返りを担当者を中心にねらいに合った活動であったかを都度行う。そこで、反省点を明確にし、次回に向けた活動を具体的に言い、より充実させていく。また、こどもの姿に応じた行事のあり方を検討していく。
3	保育環境の充実	子どもの育ち、学びに応じた教育・保育環境の充実は、学年ごと、クラスごと、またこどもの特性に合わせた工夫を行う。子どもの生活を大切にしたい視点で捉えたい。安全面についても充実していく。
4	安全管理体制の強化	園舎施設全体の各箇所における安全点検を決められた担当者を中心に定期的に行う。遊具や用品・用具についても同様に、また、水質検査の徹底も努めたい。
5	防災管理体制の強化	月1～2回の災害時避難訓練のねらいの徹底と振り返り、及び、次回に向けた課題の解消をその都度行い改善しながら進めている。非常時持ち出し袋や備蓄用品の月1回の定期点検の徹底を行う。定期的な消防署立ち入り検査の実施と見直しの徹底を行う。
6	教職員の資質向上	大阪府及び和泉市主催の研修への参画、研修後の園全体での振り返り研修とともに、具体的なカリキュラムの立案と教育保育の実施を行う。同時に、園内研修として、実施後の振り返りを行い、実践につないでいく。ファシリテーション・若手育成の充実を図る。
7	保護者への情報発信の充実	園ホームページ、ブログ、クラスだより、園だより等で集団の中でのこどもの育ち、学びの姿の情報発信を行う。また、特別な対応が必要な場合には、保護者面談等を通じて家庭との連携を円滑に行うよう工夫する。また、緊急時には、メール配信システムを活用している。